

泉大津市社会教育委員会議

■令和5年度第2回会議の議事概要

日 時：令和5年10月16日（月）午後3時～4時20分

場 所：泉大津市役所3階大会議室

出 席：車谷委員、木野委員、岡崎委員、富山委員、祐仙委員、楠本委員
井上委員（オンライン）

公開の有無：公開（一部非公開）

傍 聴 者：なし

議 題

1. 泉大津市こどもの読書活動推進計画(案)について（非公開）
 2. 泉大津市教育振興基本計画について（非公開）
 3. 仲よし学級の民間委託について
 4. その他
- ①まちなかアートフェス2023について
 - ②大学連携事業について
 - ③近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）について

議事概要

議題

1. 泉大津市こどもの読書活動推進計画(案)について（非公開）
 - ・事務局より泉大津市こどもの読書活動推進計画(案)について説明した後に、質疑、意見交換をおこなった。
2. 泉大津市教育振興基本計画について（非公開）
 - ・事務局より泉大津市教育振興基本計画について説明した後に、質疑、意見交換をおこなった。

3. 仲よし学級の民間委託について

《議事進行》

- ・事務局より仲よし学級の民間委託について説明を行う。

《主な意見等の内容》

木野委員）民間委託のメリットはというと、やっぱり行政サービスのコスト削減。

委託することによってサービスの質を向上できるというのはよくわかるが、そ

れであれば全部委託したらいいという話になる。デメリットもあるだろう。この事業はすでに委託者の公募を始めているのか。

事務局) 直営と委託のメリットとデメリットの件について、メリットとしては、民間ノウハウの活用、プログラムの充実である。デメリットとしては、市の負担額の増加である。実際に設置すると800万円増の予定である。また公募であるが、現在プロポーザル方式での募集方法を行っている。

祐仙委員) 80%賛成だが、20%は不安である。水泳等でも学校のプールをやめて民間のスイミングスクールを活用するというニュースがあり、そういった活用は良いと思っている。仲よし学級に関してもプロの方が指導し、子供たちも新しいプログラムなどを体験できるというのはよい。不安な部分は、保護者からすればこれまで学校に依頼していた安心感が、知らない業者に任せることとなるというところである。この不安が解消されると良いのではないか。

岡崎委員) デメリットが市の費用負担が若干増えるという事であるが、現在の人材、人員体制がどういう形で新体制に移行されるのか、或いはクオリティの問題はどの程度担保されるのかということもデメリットであると思う。資料だけでは見えにくいところが結構あるので、その辺りのことは、しっかりと目を配った上で、新体制に移行すべきだろう。

富山委員) 民間の業者は新しいことをいろいろやっているところがある。それがうまく機能するといい。長期契約であるが、最低賃金が上がるとコストがぐんと上がる。これを取り込めるようなバッファを置いておくことが大事ではないか。

井上先生) 指定管理者制度となると、人材の確保や、組織の人をうまくつないでいくというところに問題が起きてくる。業者に委託するっていうのは、人材を確保するという意味ではいいのかもしれないが、これまでの組織を変えるというところに不安もある。現時点で手を上げてくれそうな業者はあるのか。

事務局) 現在募集しているところなので、確実ではないが、事前には4社程度の問い合わせがあった。

4. その他

①まちなかアートフェス2023について

《議事進行》

- ・事務局よりまちなかアートフェス 2023 について報告を行う。

《主な意見等の内容》

祐仙委員) 私も参加しているが、本当に多くの市民が準備段階から参加している。絶対楽しいイベントとなることに太鼓判を押す。ぜひ来てください。

楠本委員) 私も参加しており、やる気があり、楽しい人がいっぱいいる。またこの事前準備を通じ多くの方と知り合うことが出来た。ただ、参加する、演じる側の人はい多くいるが、運営する人が少なく、ノウハウがないのでいろいろトラブルはあると思う。これを毎年続けていけば運営のスキルもついてくると思う。来年、再来年も続けていてもらいたい。

②大学連携事業について

《議事進行》

- ・事務局より大学連携事業について報告を行う。

《主な意見等の内容》

井上委員) 意見というか補足になるが、現在、連携事業として企画展「博覧会の歴史」を開催している。博覧会は博物館の基になってることから、博物館学を選択する学生には、よく見学するように伝えている。

岡崎委員) 補足というか、舞台裏の話であるが、今年度は学生が非常によく動いてくれた。キャンプで配布した冊子もかなりしっかりしたものを作ってくた。このサマーキャンプ事業を始めてから7年ぐらいになると思う。大学の中でもちょっとした伝統になっているところがあり、先輩から聞いてやりたいと思ったとか、或いは去年も係わったので、もう1回という学生もあり、これが定着してきた印象を持っている。

毎年大体この8月の後半に実施をしているが、台風が非常に多い時期である。今回も非常に突発的な暴風があったため、プログラム目玉のひとつだった山登りでクイズ大会ができなかった。学生たちは、雨の場合の別プランも考えており、結果的に学生たちと小学生との距離が縮まった。こういったこともあり、事後学習の折にも、非常に良い感想を上げてくれた。

富山委員) 昨年に続いて子供の体力向上プログラムをやってきた。今年度で市内小学校を一周することになる。次のステップへというところである。引き続き期待いただければと思う。

③近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）について

《議事進行》

- ・事務局より近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）について報告を行う。

車谷委員) 上田先生の基調講演が非常に良かった。社会教育を通じて、郷土愛を高めていこうというお話しで、本市においても参考にできることがあるのではないかと感じた。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

終了 16:20